

サッカーゴールキーパーにおける身体特性について

久保 幸一 (競技スポーツ学科 トレーニング・健康コース)

指導教員 小松 猛

キーワード：サッカー，ゴールキーパー，動体視力

1. 緒言

サッカーは日本国内に止まらず世界的に最も盛んなスポーツの1つである。ゴールキーパー（以下 GK）はサッカープレイヤーの中で唯一手を使えるポジションであり、その性格上他のポジション以上に必要な能力、技術が存在することを容易に予想できる。その中で着目したのが視機能、GK は特に相手からのシュートに対し目で瞬時に判断し正確に手で反応する能力（目と手の協応動作）が必要である。

そこで本研究の目的は、サッカーにおけるフィールドプレイヤー（以下 FP）と GK における動体視力を比較し、GK にとっての動体視力を含む視機能の重要性を証明することである。

2. 研究方法

対象は大学体育会系現役サッカー部 56 名（FP：36 名、GK：20 名）、高等学校現役サッカー部 9 名（FP：0 名、GK：9 名）の合計 65 名（FP：36 名、GK：29 名）で、測定には動体視力検査（Tomoyuki Mikami）アプリを使用し、動体視力測定を 3 回実施し、GK と FP の測定結果を IBM SPSS Statistics 19 を使用して比較検討をした。

3. 結果と考察

1) GK と FP の比較

動体視力測定結果から、GK と FP で比較をし

てみると、平均値平均と最高値平均の両項目で GK が高い値を示した。また、統計学的検定（Mann-whitney U 検定）を行なった結果、平均値平均では有意な差 ($p=0.004$) が見られたが、最高値平均では有意な差 ($p=0.143$) が見られなかった。

	GK	FP
平均値平均	70.3	57.1
最高値平均	80.1	73.9

4. まとめ

本研究では、高校生、大学生を対象に FP と GK の動体視力能力の違いについて研究を進めた。その結果、GK と FP 間では有意な差がみられた。このことから GK は日々の練習でポジションの特性から動体視力は鍛えられていると推察される。本研究から、GK の動体視力は FP よりも優れている傾向にあると考えられ、GK というポジションでの動体視力の重要性を証明する研究結果となった。

5. 引用・参考文献

目力がスポーツを変える！動体視力トレーニング (2008) 成美堂出版

石垣 尚男 (2002) 「スポーツビジョンのトレーニング効果」愛知工業大学研究報告，第 37 号 B，207-214.